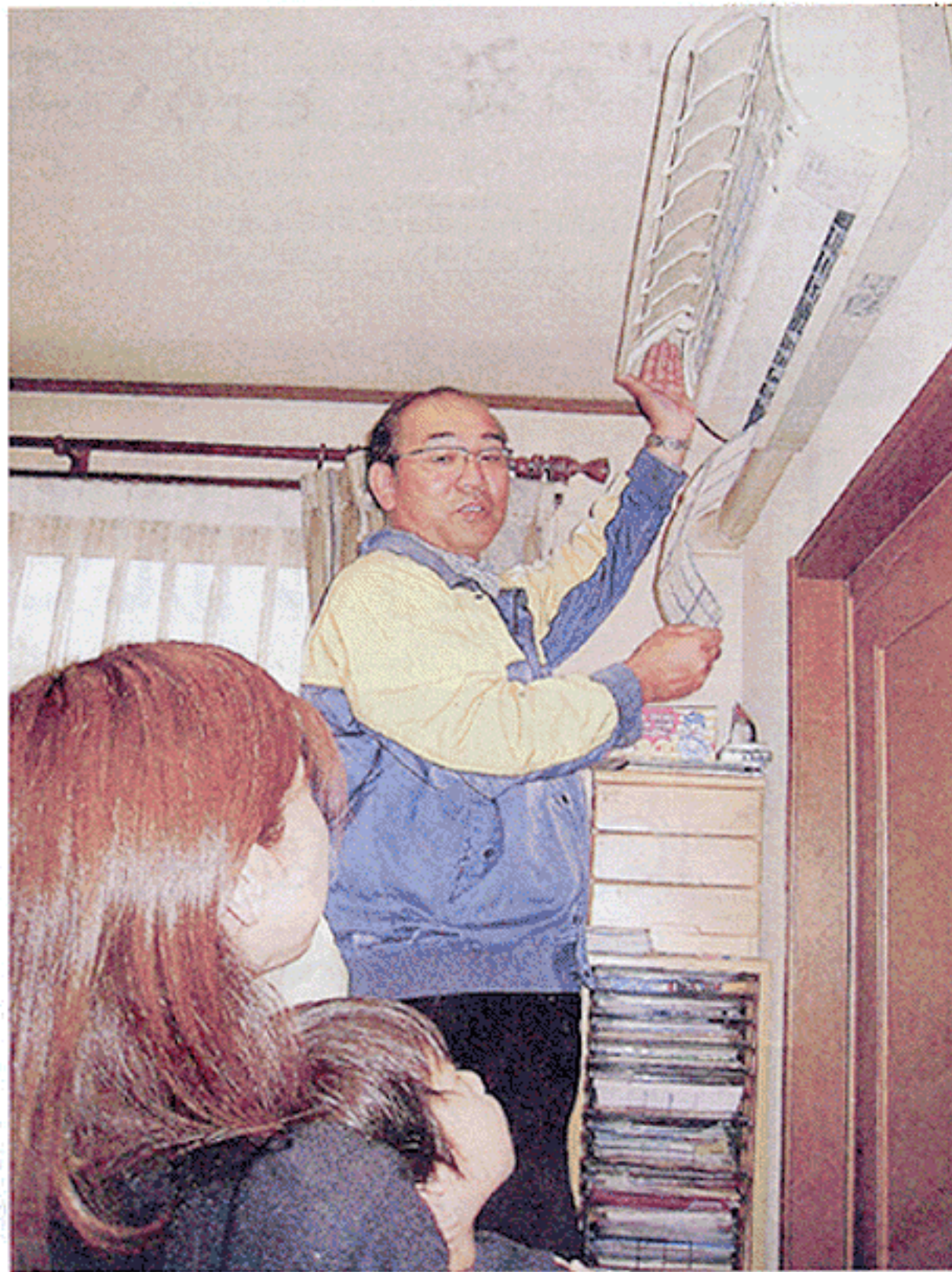


ジメジメした梅雨時は、カビの発生が気になる季節です。カビは家の中を汚すだけでなく、アレルギーや肺炎といった病気の原因になることもあります。家の中にはカビの生えやすい場所がいっぱい。でも、しっかり予防すれば発生を防ぐことができます。できるだけカビを増やさずに梅雨をしのぐ方法を考えました。

(磯部 泰弘)



エアコン内部のカビ汚れについて、中野さんから説明を受ける小林さん(左)と小諸市

# ジメジメ梅雨

## カビ対策で

### すっきりしよう。

病気も心配  
エアコンは  
中まで手入れ

エアコンの冷房を使い始めるこの時期、小諸市の小林真由美さん(37)は、毎年自宅のエアコン清掃を専門業者に頼んでいる。始めたのは3年ほど前からだ。小さい子どもがいるので、エアコンの中にたまったカビやほこりを吸い込んで、アレルギーを起こすのが心配だった。

「フィルターは自分で掃除していたけれど、エアコンの中までは手が回らなかった。夫婦共働きだから、掃除の時間もなかなかとれなくて…」

ある時、知人でダスキンエヌシーエス社長の中野信之さん(47)と小諸市にエ

アコン清掃を勧められ、やってみようことにした。

内部はカビなどで真っ黒。掃除すると、しゅしゅの様な色の汚れが出てきた。

「今までここから出る空気を吸っていたと思うと、怖くなった」と小林さんは振り返る。

カビとは「真菌・菌類」の総称だ。酵母、糸状菌、キノコの三つがあり、家庭に生えるのは酵母と糸状菌。胞子を作って飛ばし、条件のいい場所で繁殖する種類が多い。

カビは、アレルギーの一因であるダニとも関係が深い。同じような環境で繁殖

し、ダニはカビをえさにする。「カビが多い家はダニも多い傾向がある」と中野さんは言う。

エアコンの手入れに詳しいダスキン日装の伊藤隆一さん(32)と伊那市には、「エアコンを使っている間はフィルター清掃を週1回。全体の清掃は、通年使う人なら年1回、夏だけや冬だけの人は2、3年に1回やればいいでしょう」と話す。

長野市の主婦岸順子さんはアレルギーに悩んでいる。カビやハウスダスト(ダニの死がいなどのほこり)で目や鼻がかゆくなるのだ。「掃除しないエアコンのにおいだけで反応する」ため、10年ほど前から毎年、ダスキン・サインセリチイ店(長野市)に清掃を依頼。普段はこまめに換気して湿気を減らす努力も続ける。「カビはいろんな病気を起こします。(胞子は)目に見えないけど、甘く見えてはいけないと思います」